

科学技術イノベーション官民投資拡大推進費ターゲット領域の選定に向けて

平成 29 年 4 月 13 日

十倉 雅和

経済社会・科学技術イノベーション活性化委員会においてとりまとめられた「科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアティブ」にもありますとおり、我が国が、人口減少、超高齢社会を迎える中で、新たな技術革新を活用して、国民生活を豊かにする Society5.0 の実現こそが、2020 年頃に 600 兆円経済を実現する成長戦略の鍵であると考えます。

Society5.0 とは、昨年閣議決定された「科学技術イノベーション総合戦略 2016」では「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会的課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会」とされています。

Society5.0 の実現に向けて、AI/IoT/ビッグデータといった基盤技術の検討が先行しておりますが、こうした基盤技術と、日本の強みであるモノづくりを軸とする各産業のコア技術を掛け合わせることで、経済的発展や社会的課題の解決を実現し、我々が想像したこともないような、新しい産業、新しい社会、新しい未来を創出することができるのではないのでしょうか。

特に、医療や農業といった産業のコア技術であるバイオテクノロジーと、基盤技術とのかけあわせには、非常に大きなポテンシャルがあると考えます。

その一方で、こうしたバイオテクノロジーには、ゲノム編集等の技術も含まれ、生命倫理の問題はもちろん、人々の安全安心な暮らしにも直結する問題であり、こうした技術を社会全体で受容できるよう、いわゆる ELSI (Ethical, Legal, Social Issues) の問題について、Society5.0 を実現するため、早い段階から積極的に議論していく必要があります。

現在議論されている、科学技術イノベーション官民投資拡大推進費におけるターゲット領域は、Society5.0 関連分野の中で、政府研究開発投資による民間投資誘発効果が高いと見込まれる領域とされています。

こうしたバイオテクノロジーの分野も、民間投資誘発効果が高い分野であり、既に本委員会でご議論頂いている通り、再生医療の産業化、ゲノム解析・編集技術の活用、生物を用いた有用物質の生産等、様々な事業が提案されており、是非、Society 5.0 の実現に向けて、バイオテクノロジーの分野についても、ターゲット領域として積極的に検討していただければ幸甚です。

以 上